1. 進路に関する年間予定

月	進　路　関　係　日　程	テストなど
4	**「第１回進路希望調査」**	
5		
6	『進路のしおり』配付 **「第２回進路希望調査」**	第１回定期テスト【5教科】(10日)
7		期末懇談(13日～20日)
8	進	第２回定期テスト【２教科】(25日)
9	**「第３回進路希望調査」** 路	学力テスト総合Ａ(14日)
10	**「第４回進路希望調査」**←推薦出願希望もこの調査に記入 相	第３回定期テスト【5教科】(7日) 学力テスト総合Ｂ(13日)
11	進路用写真撮影 職業相談(就職希望者及びその保護者)　談 職業適性検査(就職希望者) **「第５回進路希望調査」**	学力テスト総合Ｃ(10日)
12	求人への応募・選考試験(就職希望者) 推薦委員会 **「出願手続き依頼書」**提出 私立校【単願/専願/推薦 等】願書提出 （受験料に関する手続きも含めて） 公立校・私立校【一般】願書提出 （受験料に関する手続き以外）	第４回定期テスト【７教科】(15、16日) 期末懇談(15日～21日)
1	公立校願書提出 （受験料に関する手続きを終えて） 私立校【一般】・高専願書提出 （受験料に関する手続きを終えて） ※ 公立高等学校出願変更手続き	私立高等学校【単願/専願/推薦 等】入試（日程は各校ごと）
2	※ 公立校推薦不合格者の再出願手続き **「進路希望最終確認書」**提出	公立高等学校推薦入試(10日) 私立高等学校一般入試 （Ａ日程14、15日） （Ｂ日程17、18日） 高等専門学校一般入試（19日） 私立高等学校合格発表（7程は各校ごと）
3	**「入学意思報告書」**提出 【実際に進学する学校への入学手続きは、各校が定めた期日までに、保護者様に行っていただきます。】	公立高等学校一般入試(2、3日) 卒業証書授与式(15日) 公立高等学校合格発表(17日) （定員に欠員が生じた学校のみが行う）第２次募集

※　各上級学校の「学校説明会」等の行事は随時実施されます。(『進路だより』第４号でお知らせしました)中学校を通じて申し込む場合に使う「学校説明会・体験入学等参加申込用紙」にも、自分で申し込んだあとで中学校に提出する「自分で申し込む説明会等への参加報告用紙」にも保護者様が参加を承諾されたことを確認するための“保護者署名”欄を設けておりますので、御協力をお願いいたします。

＜保護者様の御協力が特に必要なこと＞

○進学後に必要な経費に関して

私立高等学校の生徒に対する“国や北海道による修学支援”の仕組みは近年拡充されてきており、保護者様の収入によっては、「３年間で必要な経費を“交通費も含め”て計算すると、公立校へ進学する場合とさほど変わらない、あるいは、かえって私立校に進学した方が経費が安い」場合もございます。そうした制度の詳細を知らぬまま、「(経費の面で) 我が家では公立しか考えていないので…」「私立校は学費が高いので…」といった理由でお子様の進路選択の幅が狭められてしまう残念な事態が生じることを防ぎ、全ての保護者様に国や北海道が発信している情報が伝わりますよう、中学校も尽力してまいります。本説明会資料冊子の23～26ページにもそうした情報を掲載しておりますので、御精読いただき、私立高等学校へ進学した場合の納入金の概算を算出する作業を是非していただきますようお願いいたします。

○進路用写真撮影（11月上旬）

入学願書に添付する写真を撮影します。頭髪等、身だしなみにつきましても万全の状態で撮影しなければならないものですので、御指導、御協力をよろしくお願いいたします。

○入学願書等の記入

入学願書の記入は、「受検者（受験者）本人」が行います。ただし、願書の中に「保護者署名」という欄がある場合は、**その部分のみ、保護者様に記入（署名）していただく**ことになります。高等学校側の受付は厳正に行われますので、大人特有の続け字や崩し字等、楷書とは異なる字体での署名には問い合わせが入り、保護者様に高等学校へ出向き書き直していただかなければならなくなることもありえます。是非、「楷書で一画ずつ丁寧に記入」していただきますようお願いいたします。

○冬休み前後の期間に「購入 あるいは 振込」していただくもの

①道立高等学校へ出願する場合

冬休み中に、『北海道収入証紙』を北洋銀行等で購入していただきます。

②札幌市立高等学校へ出願する場合

冬休み中に、受検料（入学手数料）を指定された金融機関で振り込んでいただきます。

③私立高等学校や高等専門学校へ出願する場合

単願や専願等による受験の場合は１２月中旬から下旬までに、一般受験の場合は１月下旬頃までに受験料を指定された金融機関で振り込んでいただきます。

○道外の高等学校へ出願する場合の各種手続き

各校・各県等の募集要項等に書かれているとおりに行っていただきます。中学校を経由して手続きを進めていく部分が大きい北海道の学校（←公立校、私立校とも）とは異なり、保護者様の責任で入学願書の請求から出願に至るまでの手続きを行う方式を採る学校が多くなっています。また、入学願書等の書類の請求や提出においても、（郵送による依頼や提出は認められず）保護者が窓口に直接受け取りに行くこと・保護者が窓口に持参して直接提出すること等が求められる学校があることも御承知おきください。

……

（参考資料） 道立高等学校へ出願する場合に購入していただく『北海道収入証紙』の見本

⇒ 下の写真の例のように「３枚以内」に収めてください。

⇒ 全日制の場合は、「1000円」「1000円」「200円」の計３枚か、「2000円」「200円」の計２枚でほしい旨を窓口で伝えるとよい思います。 定時制の場合は、「500円」「400円」「50円」の計３枚でほしい旨を窓口で伝えるとよいと思います。

全日制　2,200円（昨年度の場合）

定時制　950円（昨年度の場合））

2．おもな上級学校と入試の日程

(1) どんな上級学校があるか

高等学校には、設置者による区分に公立（道立や市町村立、広い意味では国立も含む）と私立とがあり、更に全日制（修業年限３年）・定時制（修業年限４年の高校が多く、昼間部と夜間部がある）・単位制（卒業までに必要単位を取ればよく、原則的に留年はない）・通信制（レポート・スクーリング・単位認定の試験で必要単位を履修する）などの課程に分かれます。学科には、普通科や専門学科（理数・体育など）、職業学科（工業・商業など）などがあり、各自の興味に合わせた科目選択ができる総合学科をもつ高等学校もあります。高等学校以外では、５年制の高等専門学校（道内では、函館・苫小牧・旭川・釧路に国立の工業高等専門学校があります）や、技能の習得や資格の取得を目指す専修学校や各種学校があります。

(2) 北海道内にある高等学校の入試の日程

ア．公立高等学校の一般による選抜の学力検査は、同じ日に全道一斉で行われます。面接等の有無やそれらが行われる日程は、各校により異なります。推薦による選抜の面接等が行われる日も、全道で統一されています。受検できる公立高等学校は、特別の場合（推薦による選抜で不合格になった場合等）を除き、１校のみです。

― 公立高等学校（道立・札幌市立等とも）入学試験日・合格発表日 ―

◆推薦による選抜の面接等の実施日	令和5年 2月10日（金）
◆一般による選抜の学力検査日	令和5年 3月 2日（木）
【定時制の課程の面接等も この日に行われます】	
◆一般による選抜の全日制の課程の面接等の実施日	令和5年 3月 3日（金）
◆合格発表日	令和5年 3月17日（金）

イ．私立高等学校の一般受験は、試験日が異なれば、全国何校でも受験することができます。道内の私立高等学校に関しては、Ａ日程（2月14･15日）・Ｂ日程（2月17･18日）の２つの試験日が設けられており、Ａ日程の学校とＢ日程の学校からそれぞれ１校ずつ、計２校を受験することが可能です。

推薦受験（公立校との併願は可能だが、合格後は必ずその私立高等学校へ進学する）や単願受験（その高等学校１校のみ受験する）等の日程は各学校で異なりますが、多くの学校では１月中旬～下旬に試験日が設定されています。

― 道 内 私 立 高 等 学 校 一 般 入 試 日 程 ―

【Ａ日程】

・2月14日（火）

北海学園札幌、北海道科学大学、札幌大谷、札幌静修、札幌北斗、札幌光星、札幌新陽、札幌山の手、東海大学付属札幌、札幌創成、札幌日本大学、

函館大学付属有斗、函館大学付属柏稜、遺愛女子、函館白百合学園、 函館大谷、清尚学院、函館大妻、函館ラ・サール、苫小牧中央、駒澤大学附属苫小牧、北海道栄、旭川大学、旭川実業、旭川龍谷、旭川藤星、旭川明成、北見藤、武修館

・2月14日（火）～15日（水）

北照、小樽明峰、海星学院、稚内大谷、帯広大谷、白樺学園、帯広北

【Ｂ日程】

・2月17日（金）

北海、北星学園大学附属、立命館慶祥、札幌第一、札幌龍谷学園、酪農学園大学附属とわの森三愛

・2月17日（金）～18日（土）

北星学園女子、北海道文教大学附属、

小樽双葉、北海道大谷室蘭、

※ 上記の高校名のうち**ゴシック体**は、札幌地区にある私立高等学校です。

※　道外の高等学校を受験する場合の手続きは、道内の場合とかなり異なります。保護者様にしていただかなければならないことも数多くございますので、可能性が出てきましたら、できるだけ早く担任に御連絡ください。なお、道外の公立高等学校を受検する場合は、道内の公立高等学校は受検できないとお考えください。

※　高等専門学校は試験日が異なるため、公立高等学校や私立高等学校と併せて出願することができます。道内４高専の一般受験の試験日は、いずれも2023年2月19日(日)です。

【受験料は、昨年度は16,500円でした。】

道内４高専の学力検査会場はいずれも複数設置されており、４高専とも札幌会場で受験することができます。また、学力検査における選抜において、「北海道内４高専の複数校志望受験制度による選抜」という、函館高専３学科・苫小牧高専１学科・旭川高専４学科・釧路高専１学科の中から最大９学科までの出願が認められる制度もあります。

※　専修学校は、「職業もしくは生活に必要な能力を育成し、教養の向上を図る」ことを目的として設置された学校で、Ａ．修業年限が１年以上　Ｂ．年間授業時数が８００時間以上　Ｃ．生徒数が常時４０人以上の３条件を満たした学校が専修学校として認可されています。専修学校には、中学校卒業者を対象とした高等専修学校（高等課程）と、高等学校卒業者を対象とした専門学校（専門課程）とがあります。修業年限が３年以上の高等課程を卒業した時に高校卒業資格・大学受験資格が与えられる学校があり、札幌では『札幌科学技術専門学校高等課程』がそれに該当します。2022年に開校した『専修学校クラーク高等学院札幌大通校』は、クラーク記念国際高等学校の教育課程を併修することで高等学校卒業資格が得られます。

3. 公立高等学校全日制普通科の通学区域について

公立高等学校全日制課程普通科の学区制度について

道立の公立高等学校の普通科は、石狩地区内の学区については石狩学区です。石狩学区以外の道立高等学校を受検する場合には、下記の図のような募集人員学区外就学枠という制限があります。また札幌市立高等学校は、札幌市内全域からの受検が可能です。札幌市外からは２０％の学区外就学枠となっています。

保護者の住所が八条中学校の校区の場合は、石狩学区と札幌市内全域が本来学区となります。

※ 募集人員が３間口以下の場合、学区外就学枠は50%まで拡大されます。
※ 全日制の課程の、総合学科・職業学科・専門学科の場合は、全道どこへでも出願できます。
※ 定時制の課程の場合も、全道どこへでも出願できます。

4．公立高等学校入学者選抜のしくみ

入学検定料・入学手数料（昨年度）

全日制　2,200円　／　定時制　950円

①**道立の高等学校**を受検する場合は、入学検定料として**『北海道収入証紙』を購入**し、それを願書に貼り付けます。（上記の金額を３枚以内で【例：「1000円」「1000円」「200円」】）
※『北海道収入証紙』は「北洋銀行」等で取り扱っています（豊平警察署内の北海道警友会豊平支部でも購入できます)。冬休み中の早い時期に購入しておくことをお勧めします。店舗によっては、始業式間近には品切れになっているおそれもあります。

②**札幌市立の高等学校**を受検する場合は、入学手数料を「納付書・領収書」(←入学願書と一緒に配付するものです）により**金融機関または郵便局で納入**し、領収日付印が押印された「納付書・領収書（納人控・出願書類貼付用)」を願書に貼り付けます。
※入学手数料を納めることができる金融機関は、
- ○北洋銀行／みずほ銀行／三井住友銀行／三菱UFJ銀行／りそな銀行／北海道銀行／北陸銀行／三井住友信託銀行
- ○北海道内の信用金庫・北海道労働金庫
- ○札幌市内の地方銀行・信託銀行・商工組合中央金庫・信用組合・農業協同組合 北海道信用農業協同組合連合会・北海道信用漁業共同組合連合会
- ○札幌市内に所在する郵便局又はゆうちょ銀行

入学後の納付金（昨年度）

【全日制】入学金：5,650円　　授業料：月額9,900円
【定時制】入学金：2,100円　　授業料：月額2,700円

〜〜

（１）学習点とは

９教科「国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術･家庭、英語」の３年間の成績のことです。各教科の学年末評定を各学年ごとに合計し、１・２年は２倍、３年は３倍し、それらを合計して計算します。

（２）学習ランクとは

学習点の合計を計算すると、３年間オール５であれば３１５点になります。この３１５点を最高点とし、上から２０点ごとに、Ａ～Ｍまでの１３ランクに分けたものが学習ランクです。

学習ランク一覧表

ﾗﾝｸ	学　習　点
A	３１５～２９６
B	２９５～２７６
C	２７５～２５６
D	２５５～２３６
E	２３５～２１６

ﾗﾝｸ	学　習　点
F	２１５～１９６
G	１９５～１７６
H	１７５～１５６
I	１５５～１３６

ﾗﾝｸ	学　習　点
J	１３５～１１６
K	１１５～　９６
L	９５～　７６
M	７５～　６３

【学習点の例】

	国	社	数	理	音	美	体	技家	英	小計	x	計	総　計	ﾗﾝｸ
１年	4	3	3	4	3	2	3	4	3	29	x2	58		
２年	4	3	4	3	4	3	2	3	4	30	x2	60		
３年	3	4	4	4	4	3	3	4	4	33	x3	99	２１７	E

	国	社	数	理	音	美	体	技家	英	小計	x	計	総　計	ﾗﾝｸ
１年	4	5	5	4	5	4	5	4	5	41	x2	82		
２年	5	4	4	4	4	5	5	5	4	40	x2	80		
３年	5	5	5	4	4	5	5	4	5	42	x3	126	２８８	B

（３）学力点とは

入試当日に行われる「国語、数学、社会、理科、英語」の学力検査の点数を合計したもので、傾斜配点をしない場合は、各教科100点満点・合計500点満点となります。

- 令和３年度入試までは「各教科の解答時間＝45分、解答用紙の大きさ＝Ｂ４版」でしたが、令和４年度入試からは「各教科の解答時間＝50分、解答用紙の大きさ＝Ａ３版」になりました。
- 英語は「聞き取りテスト」があり、検査時間内に実施されます。配点は全体の30～35％程度です。英文が２回読まれる問題と１回しか読まれない問題が出題されます。
- 令和３年度入試まで国語・数学・英語で作成されていた「学校裁量問題」は令和４年度入試からなくなりました。
- 普通科を含む全ての学科において、特定の教科の配点に比重をかける「傾斜配点」を各高等学校の考えで実施することができます。傾斜配点を行う教科は５教科のうち１～３教科で、得点の倍率は1.5～2倍です。

＜例＞ 北海道札幌啓成高等学校（理数科）　数 1.5倍、理 1.5倍、英 1.5倍

	国	数	社	理	英	計		国	**数**	社	**理**	**英**	計
Ａさん	74	80	66	90	76	386	⇒⇒⇒	74	**120**	66	**135**	**114**	509
				（500点満点）							（650点満点相当）		
Ｂさん	82	72	86	80	66	386	⇒⇒⇒	82	**108**	86	**120**	**99**	495
				（500点満点）							（650点満点相当）		

- 令和５年度入学者選抜において傾斜配点を行う石狩学区と札幌市立の高等高校は、上記の北海道札幌啓成高等学校(理数科)のほか、北海道札幌北高等学校(普通科)【数 2.0倍　英 2.0倍】・北海道札幌国際情報高等学校(国際文化科)【英 2.0倍】・北海道千歳高等学校(国際教養科)【英 1.5倍】・市立札幌清田高等学校(普通科ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺｰｽ)【英 2.0倍】・市立札幌旭丘高等学校（数理データサイエンス科）【数 2.0倍　理 2.0倍　英 1.5倍】の計６校です。

（４）選抜の方法について

【相関表による合否判定の例】

	段　階	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	学力点 学習点	500～ 481	480～ 461	460～ 441	440～ 421	420～ 401	400～ 381	380～ 361	360～ 341	340～ 321	320～ 301
A	315～296				○○	○○○○○	○○○○○	○○○	○○○	xxx	
B	295～276					○	○○○○○	○○○○○	○○○○	xxxxx	xx
C	275～256							○○○○○	○○○○○	xxxxx	xxxxx
D	255～236							○○○○○	xxxxx	xxxxx	xxxxx
E	235～216									x	xxxxx
F	215～196										x
G	195～176										
H	175～155										

公立高等学校では、次の３通りの方法で合格者を決定します。

ア　募集人員の70％程度は、学習点の記録と学力点の成績を同等に取り扱い、選抜します。縦軸に「学習点」、横軸に「学力点」をとった「相関表」を作り、各受験生の成績をその点数に応じて座標に配置して合否を判定します。

イ　募集人員の15％程度は、個人調査書の内容等を重視し選抜します。学習点と学力点の重視の比率や、学習点以外の記録で重視する項目や実技など重視する内容は、各高等学校の裁量となっています。
＜例＞札幌東、札幌西、札幌南、札幌北、札幌月寒等の高等学校は
学習点（評定）：学力点（当日の点数）＝６：４　となっています。

ウ　募集人員の15％程度は、学力点を重視し選抜します。学習点の記録と学力点の重視の比率は、各高等学校の裁量となっています。
＜例＞札幌白石、札幌真栄、札幌平岡等の高等学校は
学力点（当日の点数）：学習点（評定）＝９：１　となっています。

5．私立高等学校入学者選抜のしくみ

・募集要項（入学願書等を含む）の請求
　→ 道内の私立校については、公立高等学校と同様に中学校で一括して取り寄せます。学校ごとに様式は全く異なり、同じ学校であってもコースや科により願書の色等が違うこともあります。募集要項には合格後の手続き等に関する記載もありますので、願書の提出後も大切に保管してください。なお、「Web出願」を採用する学校が、令和５年度入試においては更に増える見込みです。詳細は出願の時期が近づきましたら、該当受験者に説明してまいります。

・受験料の納入【金額は 15,000円 か 16,000円 の学校が大部分を占めています】
　→ 「紙の入学願書」を使用して出願する学校については、各高等学校の募集要項や入学願書についている振込用紙等を使い、その学校が指定する金融機関等で支払います。「Web出願」の学校については、それぞれの学校が指定する方法で支払います。

・受験のおもな形式
　① 推薦もしくは自己推薦（自己ＰＲ）
　② 単願もしくは専願　（条件は各校で多少異なりますが）当該学校を第一希望とし、合格した場合は必ず入学する（意思をもつ生徒のための受験形式）。
　③ 併願　公立高等学校と私立高等学校の両方を受験する。（「一般受験」とも言われる）

★私立高等学校を単願受験・専願受験・推薦受験等する場合は、（大部分の学校では）12月中旬～下旬に受験料の納入を完了していただくことになります。各高等学校で日程が異なるため、詳細はその時期になりましたらお子様を通じて個別にお知らせいたします。

～～

<u>入学者の選抜方法</u>

基本的には公立高等学校と同様に、「個人調査書に記載されている内容（学習点や中学校時代の欠席日数等）」「学力検査による点数」「面接等による評価」等を合わせて合格者を決定します。複数のコースをもつ高等学校では、たとえば、「第１希望●●コース／第２希望◆◆コース」のような出願を認めているところもあります。

個人調査書 … 公立高等学校以上に重要視する学校が多く、「○○○点以上（○ランク以上）」と募集要項に出願の目安が明記されている学校もあります。

※　個人調査書の記載事項の中で「成績」とともに重視されるのが「欠席日数」等です。各高等学校により判定基準は異なりますが、<u>**欠席日数が３年間で20～30日以内**</u>という基準を設定している学校が多くなっています。

学力検査 … 高等学校ごと、「教科数（３教科か５教科か）や内容（難易度）」が異なります。また、コースや科ごとに教科数や内容に違いがある場合もあります。

面接 … 実施の有無は各高等学校により異なります。同じ高等学校の中でもコースにより違いがある場合もあります。

合格発表 … 学校ごとに発表日が異なります。高等学校から本人宛に通知が届きます。

入学手続き … 学校ごとに締切日が異なります。「募集要項」で確認し、各御家庭で手続きを進めていただきます。（一度納めた入学金等は基本的に戻ってきませんが、最近は公立高等学校の追加合格を受け入学辞退の連絡をすると、返金していただける学校もあります。募集要項に書かれている内容ををよく御確認ください。）

納付金 … 本冊子26ページに、「2021年度 私立高等学校納付金一覧」を掲載してあります。併せて、私立高校生のための授業料負担軽減制度の概要を説明した、北海道私立中学高等学校協会発行『ご存知ですか？ 私立小中学生・高校生への修学支援』の一部も掲載しています（同23～25ページ）。札幌市は“政令指定都市”であるため、**「市町村民税の課税標準額×６％」－「市町村民税の調整控除の額×75％」** が、
154,500円未満の場合は、月額最大35,000円（年間最大420,000円）が、
154,500円以上304,200円未満の場合は、月額最大9,900円（年間最大118,800円）が支給されます。

6．推薦入試区分での出願について

★［“推薦”の分類］

〇自己推薦　：令和３年度入試までは市立札幌大通高等学校や一部の私立高等学校等で実施されていたもので、令和４年度入試では多くの「公立校の定時制の課程」の入試においても実施。令和５年度からは「公立校(←道立校・市立校とも)の全日制の課程」の入試においても実施される。中学校長が推薦するのではなく、出願する本人が自らをアピールする推薦。

≪参考資料≫以下は、令和４年３月１８日付けで北海道教育庁学校教育局高校教育課長から示された「令和５年度道立高等学校入学者選抜における改善の基本方針」の内容を一部抜粋したものです。具体的な改善内容については、令和４年９月に決定予定の入学者選抜実施要領において定められることとなっています。なお、「札幌市立高等学校」についても（一部を除き）同様に改善することが、同日付けで札幌市教育委員会学校教育部長から各中学校長に通知されております。

中学生の進路選択に資するよう、推薦入学者選抜を実施する全ての学科において、「入学者受け入れに関する方針」を入学者選抜の手引において公表するとともに、「中学校長の推薦」を出願資格から削除し、出願する高等学校の「入学者の受入れに関する方針」に合うと考える生徒が自己推薦できることとする。

《出願資格》

推薦による入学を希望する者は、次の各号に該当する者とする。

(1)令和５年(2023年)３月末日までに道内の中学校又は義務教育学校を卒業する見込みの者

(2)出願先高等学校のスクール・ポリシーを理解しており、自らを各学校が示す「入学者受入れに関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確である者

(3)当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者

〇学校長推薦：**希望する者が**“本校における審査基準”の全項目を満たしているか否かを（本校の）推薦委員会で検討し、（本校の）学校長面接を経て出願の可否を決定する推薦。

〇高等学校側の制度として「推薦入試区分での出願が必須の場合」の推薦：道外の学校等の受験において、制度が異なるために推薦入試区分での出願が必須の場合や、推薦入試区分での出願が学費免除等の特待の必須の条件となっている場合等で、高等学校側が求める条件（生活面、成績基準等）に合致する場合の推薦。

自己推薦を除き、中学校の推薦委員会で検討し、学校長が認めるという手続きを踏んでいきます。手続きは厳正に進めます。これは、推薦する中学校長には大きな責任が求められるためです。

★［「自己推薦以外の推薦」での出願を希望する者に対する“本校における審査基準”のめやす］

① 当該学校・学科への出願を志望する動機が明確であり、（一般入試区分ではなく）推薦入試区分での出願を希望する理由も明確な生徒。（当該学校・学科が第１志望であることは必須）

② 当該学校・学科に対する適性、興味、関心及び学習意欲をもち、合格及び入学後も意欲的に学習に取り組むために必要と考えられる十分な学力を有する生徒。

③ 生徒会活動や各種行事等で積極的に活動し、目標達成に向け前向きに努力した生徒。かつ、基本的な生活習慣（挨拶、言葉遣い、時間への意識、場に応じた適切な言動等）が身に付いており、日常の学習・生活（授業への前向きな取組、各種提出物の期限までの提出、係活動、給食・清掃等の当番活動等）にも一生懸命取り組み、学級内での信頼も厚い生徒。

④ 生活行動面で問題のない生徒。

⑤ 欠席・遅刻・早退が少ない生徒。

⑥ 本人、保護者の希望が一致しており、その依頼に基づいていること。学校長推薦依頼書を提出した生徒が必ず学校長推薦を受けられるわけではないことを十分に理解し、３年学年会、推薦委員会による検討及び学校長面接による判定を経て候補者となることが了解されていること。推薦入試により合格内定とならなかった場合の対処方針が予め決定されていること。

［推薦候補者決定の手順］（時期は現段階での予定です）

１．推薦入試区分での出願についての申し出 【第４回進路希望調査による意思表明】	…　１０月中旬
２．学校長推薦依頼書の提出（生徒・保護者→学級担任）	…　１１月中旬
３．３年学年会による検討	…　１１月下旬
４．推薦委員会による検討	…　１２月上旬

５．学校長面接生徒の決定 → 本人・保護者へ通知
６．学校長面接による判定　　…　１２月中旬
７．推薦候補者の決定 → 本人・保護者へ通知 → 推薦入試区分での出願
※　学校長名で、『推薦書』を当該高等学校等へ提出します。

(1) 公立高等学校の場合

推薦入学者選抜における検査の内容は各高等学校で異なります。面接はどの高等学校でも行われますが、それ以外に、自己推薦書の提出・英語の聞き取りテスト・英語による問答・実技・作文・適性検査等の中からいくつかの項目が実施されます。
また、推薦入試区分で出願した場合は、出願変更はできません。ただし、不合格になった場合は一般入試への再出願ができます。その場合は、他の高等学校・他の学科を選ぶことも可能です。

・全日制の課程の「専門教育を主とする学科」（農業・水産に関する学科の推薦枠は50～90%、その他の学科【←工業・商業・理数科等】の推薦枠は30～50%）と「総合学科」（推薦枠は30～50%）は、全道いずれの高等学校も出願が可能です。

・全日制の課程の普通科（推薦枠は10～40%）は、基本的に本来学区のみ出願が可能です。

・八条中学校の校区は石狩学区（札幌市内）で、推薦入試区分での出願が可能な**全日制普通科の高等学校**は次の通りです。

[石狩学区]（※ 学校名の冒頭部の「北海道」を省略して記しています）
札幌啓成　札幌北陵　札幌手稲　札幌丘珠　札幌西陵　札幌白石　札幌東陵　札幌真栄
札幌英藍　札幌白陵　札幌国際情報　野幌　大麻　千歳　北広島　当別　恵庭南　恵庭北

[札幌市学区]
市立札幌旭丘　市立札幌藻岩　市立札幌平岸（普通コース）（デザインアートコース）
市立札幌清田（普通コース）（グローバルコース）　市立札幌新川

・市立札幌大通高等学校の定時制（普通科入学枠　午前部30名程度・午後部30名程度・夜間部50名程度）でも**自己推薦入学者選抜**が実施されており、出願が可能です。

・北海道有朋高等学校の単位制による定時制の課程（普通科・事務情報科　入学枠30%程度）でも**自己推薦による入学者選抜**が実施されており、出願が可能です。

・各高等学校のスクール・ポリシーについては各高等学校のホームページに、各高等学校の推薦入学者選抜における「入学者の受入れに関する方針等」については北海道教育委員会や札幌市教育委員会のホームページに掲載されています。（本冊子14～16ページも御参照ください）

(2) 高等専門学校の場合

旭川・函館・釧路・苫小牧の各工業高等専門学校のいずれの入学者選抜においても、推薦入試区分による定員枠があります。

［基　準］…中学校内の審査基準を満たしていることに加え、各高等専門学校の募集要項に記載されている成績の基準（←各校で異なります）を満たしていることが必要になります。

［その他］…国立工業高等専門学校の推薦入試において不合格になった場合は、その高専の一般受検への出願者として取り扱われます。その際は、新たな手続きや、受検料の再納付を行う必要はありません。

(3) 私立高等学校の場合

ほとんどの私立高等学校の入学者選抜においても、推薦入試区分が設けられています。この区分により出願する場合、公立高等学校への願書提出は可能な学校が多いですが、他の私立高等学校への出願は認めていない学校が大半です。

［基　準］…中学校内の審査基準を満たしていることに加え、私立高等学校側が示した成績基準に適合していることが必要になります。
※成績基準は、募集要項に記載されている学校と、記載されていない学校とがあります。

［その他］…原則としては、書類審査と面接試験により合否が決まります（作文や学科試験を課す高等学校もあります）。

7．公立高等学校入学者選抜における出願変更について

(1) 一般の場合　※例年、受付期間は１月下旬～２月上旬。

・出願者は、当初出願した課程と同一の課程（全日制なら全日制へ、定時制なら定時制へ）の学科に１回出願を変更することができる。

・札幌市立高等学校の全日制普通科においては、当初出願した高等学校の専門コースと普通コースの間で、出願変更することができる。【該当するのは市立札幌清田と市立札幌平岸】

・市立札幌大通高等学校は、同一校内で他の部へ出願変更することができる。

(2) 特別の場合　※選抜に支障のない限り認められる。高等学校側が判断する。

・出願後に保護者の住所が他学区に移った場合、新住所の同一の課程の高等学校に出願変更できる。（※ しない場合は、通学区域制限枠の適用を受ける）

・保護者の転勤（内定）などにともない、４月上旬（例年、4月7日前後）までに住所移転が確実な場合、上記の内容と同様に出願変更できる。この場合、転勤（内定）証明書などの証明書類が必要となる。また、出願後において特別な事情が生じた場合は、定時制への出願変更が認められる。

・当初の出願先が定時制の課程で、出願後において、就職の決定（内定を含む）または保護者の住所移転にともない、他の高等学校の定時制の課程に出願変更しようとする場合、学科を変更することができる。

(3) その他

実際の手続きについては、**関係の書類等は中学校で作成しますが、各高等学校への書類の提出や受け取りは、本人と保護者との責任で行っていただくことになります。また、「道立→市立」「市立→道立」の場合は願書を新たに作成したり、入学検定料・入学手数料の納入と払い戻しに関する手続きも併せてしていただくことになります。**

出願変更は、出願までに検討と相談を重ね、本人・保護者とも納得して願書を提出した後の変更ということになりますので、特別な事情が発生した場合か、本人にとって確実にプラスとなる見込みがある場合以外は行わない方がよいと一般には考えられています。

詳細につきましては、出願変更の希望があった段階で、個別にお知らせいたします。